

西暦 ○○○○年○○月○○日

これまでに膵癌の治療を受けた患者さんへ 【過去の診療・治療データの調査研究への使用のお願い】

松山赤十字病院肝臓・胆のう・膵臓内科では「S1術後補助療法中または終了後6ヶ月以内の再発膵癌に対するFOLFIRINO療法またはgemcitabine+nab-paclitaxel療法の多施設共同後ろ向き観察研究」という臨床研究を行っております。この研究は、【膵癌根治切除後に術後補助療法を開始し、施行中または終了後6カ月以内の早期再発を認めた患者さんに対する全身化学療法の有効性と安全性】を調べることを主な目的としています。そのため、過去に膵癌の治療を受けた患者さんのカルテ等の診療・治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は松山赤十字病院医療倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間 : 西暦 承認後 ~ 西暦 2022年6月30日まで

対象調査期間 : 西暦 2013年12月20日 ~ 西暦 2018年12月31日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに膵癌の治療を受けた患者さんの診療録、レントゲン写真、検体（血液、尿、組織）です。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化（非個人情報化）又は符号や番号を付することをを行い、個人情報に関連する事項全てを保護します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○調査研究の結果、特許権などの知的財産権が生じる可能性もございますが、データを使用させていただいた患者さんには帰属しません。

○この調査研究は、松山赤十字病院肝臓・胆のう・膵臓内科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

松山赤十字病院 肝臓・胆のう・膵臓内科 副部長

研究責任者：畔元 信明

TEL：089-924-1111(代) FAX：089-922-6892(代)